

こぐま座流星群（#0015URS）についての一考察（小関正広）

こぐま座流星群の観測について調査したところ、1945年の突発出現と近年の観測では極大の太陽黄経が1度ほど離れており、2011年と2017年の観測でも極大の太陽黄経が0.4度異なり、また、2011年と2017年では輻射点の中心位置も2度ほど異なっていることが見出された。